



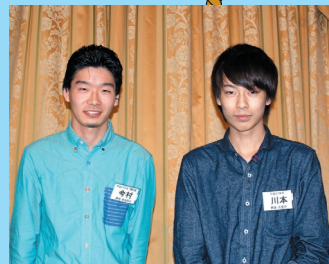
今年、今年の総会・懇親会は会場が昨年までの東京プリンスから一ツ橋の学士会館に移したことがまず大きな変化であった。運営役員としての視点で所感をまとめたい。これまでの東京プリンスの会場も全面ガラス張りであり、料理もビュッフェ形式であったが、これ10数年同じ会場で開催してきたこともあり、ややマンネリ感もあった。学士会館は、事前打合せの段階から営業担当の対応も良く、当日の会場設営や料理の配膳もスムーズで、懇親会運営においては担当した運営役員としては大変助けられた。会場がやや狭くなったため、恒例の



相川雅美さん

28年総会懇親会運営役員を担当して

S48年卒 相川 雅美



今年、今年の運営役員はS38、48、58年卒のメンバーに静岡からも11名応援に駆けつけて頂き、総勢42名の強力メンバーで担当したこともあり、会場全体に気配りの行届いた運営ができ、出席された同窓生の皆様からお褒めの言葉を掛けていただいた。静岡から参加いただいた皆さんには改めて御礼を申し上げます。



松永 由香里さん

『10年後も運営役員を！』

S58年卒 松永 由香里



司会の青島正一さんと川田彰子さん



熊本地震災害義援金の寄付を募る

運営役員ということで、お誘いのお電話をいただき、少しでもお手伝い出来ればと思います。打ち合わせには参加する事が出来ず、顔合

初めての同窓会も、とても懐かしく、静岡の名産品も食べる事ができ、楽しく過ごせました。10年後、どんな状況になっているのかわかりませんが、また運営役員で少しでもお手伝い出来ればと思います。





静商を卒業して、早いもので30年が過ぎました。静岡岡から遠く離れた東京の地で、今またこうして、母校に関わる事ができるのは、平成27年11月に的野さんか



川田 彰子さん

は川田さん作です。)

からお電話を頂くまで、全く想像もしておりませんでした。今回、運営役員として、微力ながら初めて同窓会に関わることになり、改めて、母校を想う先輩方の熱い気持ち・絆の深さに触れ、伝統ある静岡商業に在籍することができて幸せです。この先もずっと永遠に、静商魂が繋がっていつて欲しいと願っています。

『懇親会初参加運営役員の感想』

S58年卒 川田 彰子



今年のテーマ

伝統

歴史

想い

同窓会は様々な『つなぐ』を創造するコミュニティ

今年の運営役員の皆さん
(2038・48・58年卒)



私が現在、音楽の仕事で生活しているのは、ひとえに静岡音楽部に入部した事に起因します。まだ楽譜も読めない私に、先輩OBの方々が、丁寧に指導してくれたのです。また運動部並みに厳しい規則は、社会に入っですぐに役立ちました。

そして一昨年の同窓会総会に演奏で呼んでいただき、800余名のなか演奏させていただいたことは、とても名誉なことでした。また昨年の関東支部総会も、続けて参加させていただき、静商パワーのエネルギーを全身で感じ取ることができました。



寄贈の日本酒

奏して大合唱する壮観なあの場の空気は、今も私の脳裏から離れません。帰るべき家があるというのは実に幸せな事です。こうした会があるからこそ伝統の継承と、新しい息吹との出会いがあり、「剛健進取」という我が静商の旗印のよさに、本当に価値あるものがあるのだと、後世に伝えたいのだと思います。



小澤 保雄さん

『ビバ!! 静商』

S48年卒 小澤 保雄



長期間の尽力に感謝！

幹事長、専門部会長、長い間、関東支部の発展にご尽力を頂き、誠にありがとうございました。感謝の言葉をとおくり、新役員の皆さんをご紹介いたします。支部長 吉澤 英夫



○小林幸義（S42年卒）幹事長には、平成19年5月に鈴木皓介幹事長が突然ご逝去され、同年7月、年度幹事から突如、晴れ舞台の幹事長に就任、当初は、いろいろご苦労の連続であったかと思われませんが、持ち前の根性で乗り切り、それ以来、本年までの10年間に亘り、各種役員会や総会等の議事・進行役としてご尽力を頂きました。

○平井幸雄（S36年卒）広報部会長には、平成13年に中村達郎氏（S33年卒）からバトンタッチし、特技のアナグロとデジタル技術を駆使して会報第10号から第25号発行までの16年間の長きに亘り、ご尽力を頂きました。

○原初典（S40年卒）副支部長には、兼務の企画部の会長を8年間の長きに亘り、総会・懇親会の企画・立案の総取りまとめ役、懇親会には欠かせない懐かしき郷土名産品食材（桜えび、黒はんぺん、しらす等）を一手に引受て調達、各種同好会の円滑な運営などにご尽力を頂きました。

○長谷川勉（S31年卒）応援部会長には、平成11年に誕生しました応援部会の初代会長に就任されて以来、本年までの18年間の長きに亘り、母校の硬式・軟式野球部、バスケットボール部等運動部、珠算部、簿記会計部等文化部の生徒に対して熱心な応援をして頂きました。

後任の矢込俊吾（S41年卒）新・応援部会長、4月が、総会に向けて引継ぎを宜しくお願い致します。

後任の林和義（S43年卒）新・企画部会長、7月の総会後に交替になります。総会に向けて引継ぎを宜しくお願い致します。

前幹事長 小林 幸義（S42年卒）

S35年卒鈴木前幹事長の急逝を受け、平成19年から幹事長を務めてきました。当初は戸惑いましたが、当時の海野支部長の理念「できる人ができる事をできる時にやる」「ビジネスは持ち込まない」「先輩・後輩の上下関係はない」に共感し支部創立20周年、25周年と歩んできました。静商大好きを実感できた年月でした。



応援部会長 長谷川 勉（S31年卒）

平成11年の発足から18年間応援部会長の立場で母校の部活動の状況、情報を幹事会・同窓会報を通して支部の皆様にお伝えしてきました。皆様の母校愛と熱意を感じながら報告出来、心から感謝致します。応援活動を評価され硬式野球部創部90周年記念式典に招聘され嬉しい思い出となりました。



前広報部会長 平井 幸雄（S36年卒）

何もうからないまま引き継いだ会報の編集業務でしたが、小林吉照氏をはじめ7人のスタッフのご協力です。16年間心がけてきたことは、ビジュアル化、カラー化でした。次の相川さんには、SNSなどのデジタル化（タイムリーな広報）に期待します。



新幹事長 大石 倫義（S45年卒）

小林幹事長から幹事長を引き継ぎました。幹事長は、会議に付議される案件の作り込みや、各部会との調整を図る等、非常に重要な役割と認識して居ます。広報活動で培ったネットワークと構成力で、関東支部の拡大に貢献したいと思っております。



新企画部会長 林 和義（S43年卒）

今年7月から企画部会長を仰せつかりました。原部会長の後任という事で、かなりのプレッシャーはありますが、今年の総会準備を一緒にやらせて頂き、なるべく早く立ち上げたいと思っております。「習うより慣れよ」であり力まず、少しでも皆さんのお役にたてれば精神で勤めさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。



新応援部会長 矢込 俊吾（S41年卒）

大野投手を擁して甲子園出場を果たした前年より母校野球部の追っかけを始めました。随分とラッキーな出足でした。しかし昨今の実績は皆さまで存知のごとく、タメ息が止まらない状態が続いており、誠に残念です。現場主義を標榜、頭ではなく、足で母校の応援に邁進し、



静商野球ファンを増やすことが私の務めと認識しております。

新広報部会長 相川 雅美（S48年卒）

10号から25号まで16年間、広報誌充実・発展に努められた平井幸雄氏の後を受け、継ぐことになりましたが、その企画力・編集ノウハウは到底敵うものではありません。皆様のお力をお借りしてクオリティを低下させないよう努め、広報活動を通じて関東支部の発展に寄与する所存です。



新副幹事長 渡部 広志（S48年卒）

この度、副幹事長を仰せつかりましたが、3年前60歳を前に転勤を命じられ34年ぶりに静岡に戻りました。関東支部との関わりは30代半ばからです。24・25年となります。微力ながら静岡の地から大石新幹事長をサポート出来たらと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。



応援部会活動を振り返って

前応援部会長

長谷川 勉 (S31年卒)

応援部会は平成11年に発足しました。今年で足掛け18年を経過しております。

発足のきっかけは、女子バスケトボール部の全国大会出場で会場の東京体育館に海野支部長をはじめとして大勢の関東支部同窓会

員が駆けつけ、応援体制が盛り上がったことが動機づけになりました。

母校の部活動に対する支援金の予算化など専門部会としての応援部会の組織的な活動が定着しました。硬式野球部観戦を中心にした情報を幹事会や同窓会報を通じて関東支部の皆さんにお伝えして来ましたが。

私が静商硬式野球部の所謂追っかけを始めたのは勤務先の銀行を定年退職した平成4年から今年で25年になります。第二の人生の過ごし方として健康法を兼ねて野球観戦を選択しました。

初めての観戦は春季東海大会が行われた大垣北球場の四日市工業戦で、監督は同期生の清水克俊さんでした。戦績が静岡県高野連関連誌でも評価され、夏の大会

会もベスト4に進出するなどの強い静岡のイメージがあり追っかけにのめりこみました。

25年間、公式戦と関東遠征試合はほとんど全試合観戦しました。静岡グランドで行われた練習試合も大半は観戦してきました。長期間観戦を続けてきた背景には静岡同窓会関東支部活動との連動があります。

関東地方に在住の皆さんは母校の同窓会活動に強い関心をお持ちで私の試合等の情報を熱心に聞いてくれました。私は応援部会長という立場もあり使命感のよう

なものを感ずて来ましたが。応援部会の支援活動は野球部などの運動部のほかに簿記会計部等の文化部に対しても行われてきました。

硬式野球部観戦では何とんでも32年ぶりの甲子園出場でアルプススタンドで校歌を聴くことが出来たことが第一の思い出として残り、出場に至る日大三島高校との6時間20分に及ぶ濃霧の中の大逆転劇も生涯忘れられない好勝負でした。

関東遠征試合では甲子園に出場した年の早稲田実業学校戦が強く印象に残っています。リリースした斎藤佑樹投手からも追加点を挙げこの余勢で静岡県大会を制し早稲田実業とともに甲

子園出場を果たし、同校とは兵庫国体でも対戦し惜敗しましたが3位の実績を残しました。

甲子園の応援バスではS37年卒の増田数茂さんとS42年卒の山口ひろみさんのご尽力がありました。S29年卒の書家の山田雅子さんから「剛健進取・祝甲子園出場」と揮毫した大ぶりの扇子を頂戴しました。

軟式野球部関連では東京国体出場時の八丈島行きが思い出として残ります。応援部会長在任中の18年間を含め約20回にわたり同窓会会報に応援関連の投稿をさせていただ

きました。静岡高校との野球定期戦、大会展望等を中心に掲載しました。

平野、赤石新旧同窓会長、羽山硬式野球部OB会長、見城元監督、鈴木野球部部長、歴代校長先生には大変お世話になりました。

毎年東京で実施している監督を囲む懇親会における安江静岡野球部ネット会会長のお力添えにも感謝申し上げます。ご挨拶と致します。

応援部会への抱負

新応援部会長

矢込 俊吾 (S41年卒)

この度、18年間応援部会を名実ともに支えて参りました。レジェンド長谷川先輩の後を受け、応援部会長に就任致しました矢込と申します。まずは長谷川先輩の18年間のご活躍に心より敬意を表します。

私にとって静商とはおらが街の学校であり、なかなざく野球部の活躍には小学校の頃より憧れを抱き、たびたび応援に出掛けており、とても近い存在でした。月

日が経ち久しぶりに関東に戻り、千葉に居を構えた頃より、関東遠征時には応援に出掛けるのが楽しみとなり、65歳で現役を辞してよりは母校グラウンドまで足を延ばし、応援する日々を楽しんでおります。

2006年夏の32年ぶりの甲子園出場以来、丁度10年間の月日が経過致しました。この間の夏の県大会実績は、準優勝1度、準決勝敗退2度、あとは4回戦以前での敗退と、早い秋を迎えるのが今日この頃の実力であり、余りの不甲斐なさに何度応援から足を洗おうか、と思った

ことでしょうか。それでも夏の県予選が終わり、新チーム発足の際には自然と母校グラウンドへと足が向いておりました。新浦、藤波両氏にコーチを引き受けて頂き2年目のシーズンとなります。昨年は本当に怪我に泣かされたチームでしたが、夏には間違ひなく持てるべき力を十二分に発揮できる陣容になつてゐることを大いに期待しております。



熊本地震への寄付金報告

熊本地震は平成28年4月14日・16日に発生し、震度7の大きな揺れにより、多くの住民の生活と熊本城に傷跡を残しました。

関東支部では、5月21日の拡大幹事会で義捐金の寄付を検討し、総会会場に募金箱を設置。7月16日の総会会場に設置された募金箱には、多額の寄付が寄せられましたが、まとまった金額にする為、支部会計から補填をして、10万円を寄付いたしました。

寄付先は数ある中で、復興のシンボルである熊本城の復興資金(熊本市の口座)にさせていただきました。

現在、熊本市はその復興に向けて、20年の期間と600億円と言われる修復計画を進めて居ます。右・S40年の修学旅行にて左・被災した熊本城



■ 2016 (H28) 年のイベント ■

◆ 総会 & 懇親会

- 1 月 30 日 (土) シーボニアメنزクラブ
 ◆ 第 57 回 (春) 3 月 25 日 (金) 川越 C C
 ◆ 第 58 回 (夏) 6 月 2 日 (木) 長太郎 G C
 ◆ 第 59 回 (秋) 10 月 1・2 日 (土・日) 房総 C C

■ 2017 (H29) 年のイベント ■

◆ 総会 & 懇親会

- 1 月 28 日 (土) シーボニアメنزクラブ
 ◆ 第 60 回 (春) 3 月 22 日 (水) 川越 C C
 ◇ 第 61 回 (夏) 6 月 1 日 (木) 中津川 C C
 ◇ 第 62 回 (秋) 10 月 7・8 日 (土・日) (開催地選定中)

◆ 第 58 回 コンペ (夏) 成績

- 優勝 田邊 勉 (S34 年卒)
 2 位 中畑 稔 (S40 年卒)
 3 位 根岸 巖 (S49 年卒)

◆ 第 59 回 コンペ (秋) 成績

- 優勝 小長井 武夫 (S34 年卒)
 2 位 上杉 義昭 (S38 年卒)
 3 位 林 和義 (S43 年卒)

◆ 第 60 回 コンペ (春) 成績

- 優勝 根岸 巖 (S49 年卒)
 2 位 相川 雅美 (S48 年卒)
 3 位 石貝 晃司 (S30 年卒)



ゴルフ同好会は年に 3 回のコンペを行い、秋のコンペは前夜祭からという企画で楽しんで居ます。

「青天の霹靂」
 小生当同好会の幹事を仰せつかり、数年前に高山房之さんはじめ若手の皆さんに引き継ぎましたが、その後体調も思わしくなく、久しぶりのコンペ参加となりました。

第 59 回優勝者小長井 武夫 (S34 年卒) さん。皆様と楽しく語らい、おだてられて小生の習い事の詩吟を吟ずるなど終始リラックスした状態で出場、ハンディキャップの恩恵もあり、こんな成績でした。

望月先輩にはこの紙面をお借りし、御礼申し上げます。

健三郎先輩お手製の小田原提灯を頂くこ



とが出来ました。小田原提灯は魔除けとしても人気とのこと、私も平成 29 年は喜寿を迎えますのでお守りとして大切にしたいと思っています。



SC 女子会 『あじさい』

SC 女子会『あじさい』は、女性たちの豊かな発想と行動力で、世代を超えて楽しめる同窓会活動を、と昨年 2 月に、副支部長の岡本さんが発起人となってスタートしました。

それから、4 月 22 日の企画まで 7 回を数え、現任の会員は 15 名。毎回会員が講師になって趣味の指導をして作品を完成させたり、

四季を楽しむ散策をしたり、活動内容を充実させています。もちろん、おいしい食事は絶対です。そして何より負担にならない参加費を心掛けています。

多くの関東支部女性会員に楽しんでいただくため、山歩き、そば打ち、リース作り等、活動のアイデアは尽きません。是非、気軽に参加していただき、SC 女子会『あじさい』を楽しんでください。お待ちしております。

齋藤 まり子 記
(S48 年卒)



第 5 回絵手紙



第 4 回ホテルランチ

SC 女子会
あじさい



しぞーかおでん



第 6 回刺繍

SC 女子会「あじさい」の活動実績

- ① 28.2. 28 発足 決起会ランチ
- ② 4. 10 有楽町ランチと東御苑散策
- ③ 6. 18 本土寺あじさい鑑賞と地元の名店モンラパンで
- ④ 9. 10 ホテルバイキングランチと歌声喫茶『ともしび』
- ⑤ 29.1. 26 絵手紙制作と人形町人気イタリアンランチ
- ⑥ 2. 18 刺繍としぞーかおでん
- ⑦ 4. 22 新宿御苑散策とお楽しみ弁当



連絡先 会長 S43 年卒 岡本 朗子
 scazisai@yahoo.co.jp

テニス同好会

テニス同好会は関東支部のテニス好きが集まって始めた同好会で、いつの間にか40回を超えました。会員は男女各5名の少人数ですが、毎月の定例会には6〜7名の会員が集まり「有明テニスの森公園」で練習をしています。一日4時間の練習ですが、力一杯動き回り日ごろの運動不足を解消しています。各人が年度目標を定めレベルアップを目指していますので、コートでは火花を散らすような対戦もあります。

初心者の方大歓迎です。是非ご連絡ください。
S 32 年卒 宗野 治義
《写真はパワー三人娘・左から岡本・的野・佐々木》

当日は曇り空の寒い日でしたが、北鎌倉駅は寺回りの観光客で賑わっていました。10時人数確認後、鎌倉街道を南下し東慶寺（駆込み寺）、浄智寺を経て葛原岡コースへ。



歩く会

歩く会は、会員の健康増進のために春と秋の2回、関東地区の名所・旧跡をめぐる例会ハイキングを行っています。平成28年度に行った二つをご紹介します。

◆秋の鎌倉ハイキング

平成28年11月23日（水・祭）
集合 北鎌倉駅西口
行き先 葛原岡〜大仏切通

当日は曇り空の寒い日でしたが、北鎌倉駅は寺回りの観光客で賑わっていました。10時人数確認後、鎌倉街道を南下し東慶寺（駆込み寺）、浄智寺を経て葛原岡コースへ。

浄智寺の住職が裏山からの絶景に感激し「天柱峰（中国の名峰）」と名付けた峰を通り源氏山公園へ。広い公園の中には葛原岡神社、その祭神である日野俊基の墓、大きな広場があり、昼食後、紅葉の見事な場所

で集合写真を1枚。後半、山道に入りアップダウンを繰り返し、大仏コースと分かれ、急な階段を登り返すと目的の大仏切通となった。切通は、敵の侵入を防ぐため安易に通行できないよう細い道にしたもので、古人の知恵に感服。

切通を抜けゴールの火の見下バス停へ。

鎌倉在住の須川さん（40年卒）の案内で八幡宮参道（段葛）が改装なって綺麗な段葛を歩き、その後須川さん手配の蕎麦屋で反省会を実施。本日の頑張りに乾杯し本日の会を終了した。

歩行距離 4キロ
歩行歩数 約7000歩
参加人数 13名（女性4名）



◆新宿山ノ手七福神巡り

平成29年4月2日（日）
行き先 新宿山ノ手七福神

当日は天候に恵まれ、定刻迄に16名の参加を得て七福神巡りを開始しました。

最初は、布袋さんを祀る太素寺です。布袋さんは左側の堂に収められにこやかな表情で迎えてくれました。続いて恵比寿神を祀る歌舞伎町方面稲荷鬼王神社。残念ながら恵比寿神のお

顔は拝見できませんでした。が澄み切った水琴窟の音色を楽しみました。

次は福祿寿の永福寺。本堂前の祠に祀られ扉に頭を付けて暗い中を覗くと、祠の左側にいらつしやいました。

次なる寿老人は法善寺本堂脇の庫裡に祀られていました。来た道に戻って厳島神社の通称坂弁天は池の鯉が立派でした。

次は大黒天。経王寺の階段を登ると枝垂れ桜が満開。大黒天で小槌を3回振って願をかけました。

そして、最後の毘沙門天さんの善国寺に進みます。日曜日で大変込み合っていました。本堂の毘沙門天さんに願掛けして、本日の七福神巡りを無事終了。

ここで解散して、参拝後は「昼食を兼ねた反省会」で大いに盛り上がり、お持ち帰りいただいた福は、ご家庭で大きく育てて欲しいものです。



歩行距離 約5.8 Km
歩行歩数 10600歩
参加者 16名（女性4名）

カラオケ同好会

忘年会

平成28年12月17日（土）

今年のカラオケ忘年会はS 40 年卒 田邊勉さんのお店「シーボニアメンズクラブ」で行われました。

忘年会は、相変わらずの楽しい雰囲気、思わず酒のピッチもヒートアップ。そして、たらふく食べたところでお待ちかねカラオケ大会の開始。カラオケナンバーワンは俺だ、私だと皆さんの意気込みが伝わってきました。

審査委員長は現在歌手で活躍されているS 51 年卒の川守宏さん。4人1組のチーム対抗戦もあり、私は

S 29 年卒の興津高里さん、S 43 年卒の林和義さん、S 38 年卒の山本文雄さんと剛健進取組になりました。参加者の歌にそれぞれ熱い声援が飛び交う中、あつという間に3時間が過ぎ、いよいよ審査発表。

「第1位は小長井さん」「えーほんまかいな」。昨年に続いて個人優勝。剛健進取チームも団体優勝してダブル受賞に感謝感激！

また、同期の前田雄幸君と横島啓枝さんもそれぞれユーモア溢れる賞をいただきました。3人揃った受賞となりました。

閉会後も、S 29 年卒の興津高里さん、永井賢雄さん、宮川欣也さんの3先輩をお誘いして新橋駅近くのスナックで祝勝会をしました。そして、今年もカラオケ同好会の皆さんのアイデアを凝らした会に感謝しつつ家に帰り「トそっとお休み」を口ずさみながら床に入りました。

投稿は、今年の優勝者
S 36 年卒 小長井 建昭



同 期 会 だ よ り

関東支部では、年に1回の総会・懇親会だけではなく、同期の集いを推奨し支援して居ます。そして、同期会を開催して居る年度の幹事さんから、その様子を寄稿していただいていますので、ご紹介いたします。

傘寿を迎えて

(S30年卒)

平成29年4月11日、二年ぶりの関東五十六会を「水戸黄門」由の小石川後楽園で開催。傘寿を迎え、花の盛りを楽しむ積りが朝から一日中季節外れの風雨と冬並みの寒さで屋外に出ることもままならず。逆に与えられた時間を名園を眺め乍ら、ゆったりと近況や懐かしい話に花を咲かせることができました。

四半世紀の歴史

(S36年卒)

「奇数月の第二水曜日の夕刻」に、「神田駅近くの居酒屋」で、関東支部の昭和36年卒が、「SC36会」と称する「飲み会」を、およそ四半世紀続いている。直近の例会の情況 定刻5時30分までに全員集合（今夜は出席者7名）。ビールで乾杯。そのあとは焼酎・日本酒。料理は、店に任せのコース料理。近況報告と雑談各種。8時お開きの後は、有志で二次会へ。

しかし、あつという間に5時間が経過し降りしきる雨の中、それぞれ再会を約



したが、あつという間に5時間が経過し降りしきる雨の中、それぞれ再会を約

本人あるいはご家族の体調不良等もあり、やむなしといったところ。この36会のメンバー、今後一年以内には全員が「後期高齢者」になる。しかしながら、この例会は、いましばらくは続けられると思っている。

(高木 英雄 記)

熱海に一泊旅行

(S38年卒)

平成28年10月21日（金）22日（土）にかけて毎年恒例の秋季一泊旅行を開催し、今年は20回目当たり、参加人数が42名と最大となる。参加者の内訳は、

(男12名・女1名)

静岡（名古屋含む）からの参加者29名（男22名・女7名）旅行先は、東京の奥座敷「熱海」の宿泊場所へ16時現地集合で三々五々集まり一泊旅行の幕が開く。

宿泊場所は、熱海駅から徒歩7分の「KKRホテル熱海」客室から雄大な太平洋と初島が眺められ、大浴場でゆったりと体の疲れをほぐし、宴会を待つ。既に、幹事部屋では宴会前の景気付けで飲み会が始まっている。

宴会は、18時から入り口で鈴木（一）君手配のくじびきで席が決まり、自分の席は？隣は誰が座るか？とワイワイガヤガヤと昔に戻った賑やかさ。梶山君の軽妙な司会で始まり、吉澤君の乾杯で飲み放題の宴会が盛大にスタート。

まずは、食事（鮑と栄螺等に舌鼓をうち）と会話（旧交を温め）を楽しみ、その後、記憶力抜群・松木君の名講演で座を盛り上げる。

その時の一句を披露

「古希過ぎし

老いの到来恐れずに

日々重ねつつ

今を楽しむ」

あつと言う間に2時間が過ぎて、記念撮影、



鈴木（一）君のメール、磯部君の一本締めで二次会終了。二次会は、カラオケチーム（20席超の飲み放題カラオケルーム貸し切り）と飲み会チーム（幹事部屋で磯部と来年の再会を期して13時

初めてのナナピン会

(S45年卒)

昨年12月13日（火）、S45年卒の同期会「関東ナナピン会」第一回を新橋駅前のお店で開催した。開催の経緯は、昨年9月に静岡で開催された45年卒の同期会「ナナピン会」（4年毎の開催）の席上で、関東でもナナピン会をやる、との声があり、関東支部の同期会を盛り上げる意味もあり今回の実施となった。メンバーは、新浦 壽夫、松島 英雄、大石 倫義、山梨 隆史、安藤 俊の5人でスタート。初顔合わせでの話題の中心は、新浦、松島のプロ野球現役時代の話で大いに花が咲き、楽しいひと時を過ごした。今後も野球の話は勿論のことお互いの第二の人生など語り合うべく開催継続を約束し解散となった。

(安藤 俊 記)



しらすで痛飲）に分かれ、更け行く秋の夜を楽しむ。翌日は、朝食の後、小西君の案内で有志が連れ立って熱海の海岸を散歩、お宮の松等を見て、熱海銀座の坂道を登り来宮神社へ向かう。

来宮神社では本堂参拝後、樹齢二千年を超えている大楠（本州1位）の霊感に打たれ記念撮影。

昼食（参加者29名）は、熱海駅から二つ目の伊豆多賀駅で下車し、徒歩で予約している蕎麦処「多賀」へ向かう。ビールと手打ち蕎麦を堪能後、園庭で記念撮影。

バスで熱海駅へ向かい、熱海駅で幹事の方々への感謝と来年の再会を期して13時

半解散。みんなの元気な笑顔に触れて充実した2日間であった。

(西澤 豊次 記)

シーボニアに集う

(S41年卒)

「よんいち会」は平成28年5月24日に一年先輩の田邊様のお計らいもあり、日比谷シーボニアで開催されました。

参加者数は22名、内4名は静岡及び名古屋から馳せ参じてくれた仲間たちでした。遠路遙々駆けつけたゲストと共に、二次会のカラオケまで一名の脱落もなく、楽しく過ごすごことが出来ました。

勿論、女性参加者も！
2017年は古希を迎える我々ですが、健康に留意の上、今後とも会の継続を祈っております。
(矢込 俊吾 記)

湯けむり研究会
(S42年卒)

昨年11月27日(日)28日(月)の両日、横浜で第16回「湯けむり研究会」が開催された。場所は横浜中華街。参加は11名。宿は「ローズホテル横浜」とし、宴会は同ホテル内の「重慶飯店」。

今回初めて参加の鈴木修一君が宴会に駆けつけてくれ「なんと卒業以来50年ぶり」という仲間もいて大いに盛り上がった。

翌日は、三溪園まで足をのばし、庭園の素晴らしさを満



一泊に興じていた忘年会も、家族や本人の健康不安等で欠席者が増えた為、今年は秋の夜の六義園に集う事になりました。12月3日、卒業以来の懐かしい顔もあり15名が集まりました。幻想的にライトアップされた

『飛翔会』 六義園に集う

(S43年卒)

喫。今年は童心に帰って「八景島シーパラダイス」を予定。皆元気で30回まで続けたい！
(高塚 年明 記)



今年もやりました！ ななまる会

(S44年卒)

和歌の時代を思わせる情景に感嘆し、和やかに紅葉の下を回遊。その後居酒屋でテーブルを囲み、故郷の青春の日々に思いを馳せ、還暦を過ぎた若人達は、心地よい絆に喜び酔い、元気でまた来年の再会を約束しました。
(岡本 朗子 記)



10月29日(土)11時30分、恒例になりました静岡・関東合同同期会をシーボニアメンズクラブにて開催。参加者12名。ランチュビュッフェのあとは、皇居二重橋で写真撮影後、「はとバスオオソラミオ」に乗りし東京の人気スポットをドライブ。お上りさんさながらのコースでしたが、あいにくの雨と寒さも笑いに変わって楽しい一日を過ごしました。
(的野 典子 記)

事務科クラス会

(S48年卒)

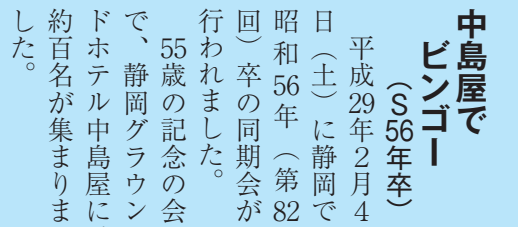
「特別寄稿」
同期会報告は関東支部のメンバーで行われているものを紹介していますが、全体の同期会だけが行われている年度もあります。関東支部の同期会に発展することを期待して、今回は全体の同期会からの報告もいただきました。



私が入学した昭和45年は静商に小学科制を導入した年で、事務科は女子ばかりの2クラス。その為メンバーの結束も固く、毎年クラス会を開催するようになり数十年が経ちました。

この同期会は女子ばかりということもありランチ会主体で、先輩が勤務する中島屋グランドホテルをよく利用して居ますが、それに加えてイベントを企画し、

ボーリング、久能山東照宮参拝、母校見学、遊覧船企画に日帰りの温泉企画、更に積み立てをして熱海や札幌に旅行もしています。



開催後は必ずアルバムを作り参加者に配布、「どんなに参加者が少なくても続けていくことをモットーに、静岡在住の加藤早智子さんと私の2人(永年幹事)で頑張っています。関東では同期会とうたっていませんが、クラス会が関東の繋がりの深め、頻繁に集まっています。

ご列席の小関先生は80歳を超えてのお元気さと日々のご活躍に脱帽です。亀山先生、松井先生もまだまだお若く素敵でした。



また、関東在住の同期も集まれそうなのが見えてきました。一人でも多くのメンバーが集まりますように。
Let's GO GO! (55)
(高柳 佐和美 記)



思い出多き

静商時代

土屋 堅固

昭和31年（1956年）4月静商に入学しました。

藤枝からの汽車通学の我々には、静岡は、デパート、商店、書店、映画館、喫茶店などまぶしいほどの都会。静商時代は年齢的にもその後の人生の骨格を作った時期だったと後で思います。

在校中多くの立派な先生に恵まれたことは感謝に堪えません。印象深いのは、商業法規の牧田先生、漢文の中根先生、数学の朝比奈先生、一般社会の本間先生、世界史の石田先生、とりわけ本間先生の近世の思想、

文学、音楽などの話には感銘致し、読書を大いに啓発されました。・・・在学中見た映画も忘れえぬ思い出です。「風と共に去りぬ」「誇り高き男」「白鯨」「昼下がりの情事」「王様と私」「80日間世界一周」「戦争と貞操」「楯山節考」・・・きりがありません。友人たちとの良き思い出も多くあります。中でも同じ青島中学からの友人、村松信吾君、桜井昭夫君、青島紀満君の3人とは安倍峠登山が思い出深く、卒業してからも親しく交流していましたが、青島君が7年前に、村松君が5年前に亡くなり残念でなりません。当時伝馬町の鈴木英夫君宅でのレコード鑑賞、常盤秀樹君らとの伊豆韮山まで日帰りサイクリング、青木（旧姓大木）修次君、伏見重夫君、戸井政広君たちと真富士登山、相良中の山口錦治君とは浜岡砂丘で人生を語り合うなど他にも思い出は尽きません。多謝。

そろばんを武器に

田村 富男

小学校4年生の時から、そろばん塾に通いはじめた。これがそろばんとの出会いである。中学生になっても続けられた。多分、数学が好きで計算することが性に合っていたのかもしれない。高校を卒業したら就職すると決めていて、どうしても静岡商に入りたかった。受験勉強が実を結び、念願が叶って入学することができた。更なる成長を目指して迷わず珠算部に入学した。それから放課後の部活練習と帰宅後の塾での練習とダブルの練習が、およそ三年間続く。習い始めて通算九年となり、練習量としても相当量をこなし、それなりの実力が付いたかなと思う。又、そろばんは長く練習すれば暗算（辞書による）と：「紙や計算機を使わず、頭の中で計算すること」：とある）の技術が身につく。これは頭の片隅にそろばんをイメージして計算する技術といってもいい。卒業後は、幸いにもS都市銀行に入行することができた。現在はコンピュータ時代で全て機械が処理してくれる

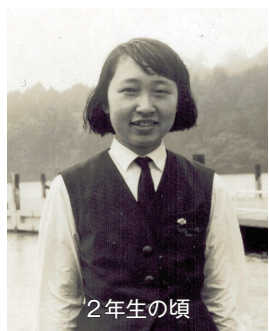
が、当時の銀行の仕事は手作業に頼らざるを得ず、長い銀行員生活のなかで、そろばんが大いに役立ったことは言うまでもない。又、日常生活においても、多岐面で暗算という武器が本領を発揮したと思っている。どんなに小さな事でも、継続的に行動することによって、目に見えない自分への大きな財産になるという事を体験でき、本当に良かったと思っています。

父の慰霊へ

高木 美子

（旧姓 伊故海）

フィリピンへの慰霊団に初めて参加できたのが昭和61年でした。その後2回、昨年は18年ぶりに4回目の巡行に行きました。又出征前、新京（長春）の満州林業に勤めていたもので新京には是非行ってみたいと思っていました。3回目の中国行きて新京の本社ビル、北京のいわ園、大同の雲崗の石窟、はるか遠くの清水河と足跡を訪ね歩くことができました。何回もの旅に出させてくれた家族に心から感謝しております。60代に音訳の世界を知りボランティア活動をしています。3年間の通学が、いまの健康の支えではないかと思うようになりました。



2年生の頃

進取の気持ちで

歩いた走った

平井 シズヨ

（旧姓 大石）

昭和28年4月蒲原町の東はずれにある蒲原中学へ入学、片道30分から40分歩き、日本軽金属蒲原工場の長い塀を通り過ぎてやっと中学校の門をくぐるのです。今では新蒲原駅もあ

り静岡市民です。高校は静岡へ通いたいと思っていました。そして入学。田町までもよく歩いて往復しました。見るもの聞くもの興味津々でした。年1回の全校マラソン大会も頑張りました。結婚して横浜に住みました。坂が多いが、よく歩いていきます。山ノ手線一周散歩ウォークとかJR東海道日本往来ウォーキング全コース踏破とか地区の歩く会にもよく参加しました。知らない街を歩きたい・見たいという気持ちが脈打っていて海外にも行きました。中高校時代に進取の気持ちが育ったようです。

時は過ぎ、76歳になった今、歩くこと、又せつせと筋トレ教室に通い自分の足でいつまでも歩いて生活できたら、と思っています。



富士登山（静商2年）



梅ヶ島に一泊して安倍峠登山、左から青島、桜井、村松、土屋（私）



フラダンスを楽しむ

ドラマのような 大先輩との出会い

数崎 公一

時は昭和43年（1968年）のことです。小生は28歳、三鷹に住んでおりました。勤務の都合により町田市に引越すことになりました。小さな家を購入し、7月の暑い日に移り住み、町田市での生活がスタートしました。



卒業式前日の34年
3月9日、田中屋デ
パート写真室にて

があり、まるでドラマのような事であり、本当に驚きました。

人生って面白い

静岡と部活の思い出

小長井 武夫

私の高校時代勉強の思い出はありませんので、受験動機クラブ活動の思い出を少し書いてみます。

姉の嫁ぎ先が静岡近くの

本通にあり中学生当時に遊びに行くと、家の前をホワ

イトライン二筋の帽子を被った静岡生が自転車で颯爽

と通学している姿にそこが

れたことに加え、高校野球

で昭和27年夏優勝、29年春

準優勝と当時の静岡の街は

静岡野球一色であり、野球

少年でもあった私は、「高

校は静岡しかない」と決め

昭和31年春入学しました。

クラブは野球応援の花形

音楽部、甲子園も夢ではない

と思い入部しました。当時の

音楽部の実力は自他ともに認

める伝統ある部であり、運動

部に匹敵するほどの練習を行

う厳しい部でした。

2・3年生のレギュラー

私今

の練習中は傍にいて楽譜を一生懸命目で読み、レギュラー練習が終わると、ようやく楽器に触り練習をする。思い出される・人生って午後八時過ぎまで練習し楽器を掃除し9時近くに退校、田舎の砂利道を自転車です30分程かけて家へ・・・厳しい練習の毎日でした。

他の方は知りませんが学業成績は落ちるばかり、会社を定年になり気持ちホッとしたときに、教科書を忘れたなど、度々勉強の夢を見るようになりました。クラブ同期生は部長の石本君、指揮者の水野君を中心によくまとまりのあったメンバーでした。部活の中で特筆すべきは、水野君の努力で当時の県内高校では初めてマーチングバンドの演奏を採り入れ、いろいろなセレモニー会場からお声からお声を掛けていただき、楽しい演奏活動をさせていたことだ。私今



思い出の写真：昭和 29 年当時の校舎



《五十嵐昭夫氏》

「瑞宝小綬章」を受章

昭和38年卒の五十嵐昭夫氏が、平成28年の秋の叙勲で「瑞宝小綬章」を受章しました。

五十嵐昭夫氏は、関東支部発足の当初（平成3年7月）から会員として参加されており、昭和38年卒業生の同期の集まりにも何回か参加されています。

また、平成13年1月28日には、関東支部のメンバーを潜水艦「はましお」に招待し（参加者15名）、艦内を視察させてくれただけでなく、米軍基地内を案内してくれました。

（左の会報第10号参照）

瑞宝小綬章のような荣誉ある章を受章した同窓生がいることを誇りに思い、受章を皆様と一緒に喜びたいと思います

潜水艦乗艦記

牛村 優子（S48年卒）

平成十三年一月二十八日、昭和三十八年卒の五十嵐さんのお取り計らいで、潜水艦「はましお」に乗艦させていただきました。米軍基地内は開放感があり、特別に用意していただいた昼食は、とても美味しくアメリカの雰囲気を感じることができました。スライドで予

備知識を頭に入れ、班に分かれ、乗員の方のご案内で、私にとっては初めて見る世界で、期待と緊張で足が震えました。三十キロメートルの先に見える潜望鏡、レーダー、魚雷など、本物を目の前にして「ウー、スゴイ」の一言、本当に感激しました。でも、あの狭いベッドはかわいそうでした。

私たちが毎日何気なく、当たり前のように生活しているもの、目に見えないところで安全と平和を守って、日夜ご努力してくれている人達がいるのだということを感じさせてくれました。この体験がなければ、私は一生こういうことを思う



ことはなかったと思います。五十嵐さんありがとうございました。

《略歴》

- 1944年 新潟県上越市に生まれる。
- 1951年 静岡市に転居後、1960年静岡商業に入学
- 1963年 卒業後、約2年間の商社会社勤務を経て
- 1965年3月 海上自衛隊に入隊。主として潜水艦部隊勤務。その後、潜水艦「はましお」の艦長を経て、第二潜水隊司令となる。（旧大佐相当）
- 2001年11月 海上自衛隊を定年退職



私たちのクラブが無くなった？

私たちが静岡で過ごした、クラブ活動の思い出は、その後長い年月を経て、何物にも代えがたい財産となつて居ます。

存在したクラブを数えると、運動部が30、文化部が43を数えますが、現在静岡にあるクラブは、運動部が18、文化部が11を数えるのみ。残念なことに、運動部で12、文化部で32のクラブが、廃部となつていました。

関東支部では、廃部になったクラブに所属していた人に「廃部への思い」と「当時のクラブ活動の思い出」を語ってもらいました

新聞部の思い出

振り返れば、静岡を卒業し、もう半世紀近く経ってしまったことに、改めて時の流れの速さに驚かされます。

新聞部は既に廃部になっていると伝え聞き、色あせて

た当時の新聞を読み返してみれば、何とも言えない懐かしさと寂しさとともに、楽しかった部活動の思い出がよみがえってきます。

私達の学年は二回の甲子園出場を経験し、特に三年生のときの準優勝は新聞部としてもトップニュースで

した。また、硬式野球部だけでなく、軟式野球部、柔道部、水泳部などインターハイ、県大会でも常に活躍し、紙面を飾るニュースには事欠かなかったという印象があります。そして新聞部も、この年の中部日本コンクールでは一位に選ばれています。

放課後の教室で暗くなるまで、明日配る刷り上がったばかりの新聞のインクで指を真っ黒にして折り畳む作業をしたこと、学校帰りの広告取りで市内の商店や会社を回ったこと、そして何よりも、かけがえのない最高の仲間と出会えたこと、どれも決して色あせる事のない大切な思い出です。

今回、関東支部広報部の方からの投稿を依頼された



男子バレー部の思い出

私たちが在学して居た当時（昭和38年）は運動部の中心は、硬式野球部でありグラウンドをほぼ独占していました。



昭和 37 年 永田峰雄先生のご指導のもと秋の国体に優勝。
念願の全校大会（岡山国体）に行く

した。静岡バレー部商友会（OB・OG会）は隔年の10月に午前中に在校生とバレーボールを楽しみ夕方静岡中島屋にて懇親会を実施しております。3年前に卒業以来初めて50年ぶりにわが母校静岡商業に顔を出してまいりました。そこかしこに昔の思い出がいっぱい懐かしさのあまり学校中をぶらぶらしてまいりました。

ぶりのバレーボール、若い力と元気をいただきました。そこで初めて男子のバレーボールクラブは廃部となったことを聞きました。とても驚き、寂しさを隠せませんでした。

ただし女子バレー部は健在であり頑張っております。春高バレーに出て「静岡バレー此処に有り」を見せていただきたいと願っております。

S 38 年卒 後藤 忠昭



長山さんの家に保管されていた
昭和 44 年 9 月発行の静岡高新聞

お陰で、私が所属しておりました排球部は、テニスコートの脇で野球部のフールボールを気にしながらの練習（先輩の温かいシゴキ）に励んでおりました。

静岡バレー部は県では名門であり西の浜西高・東の葦山高と競い合っておりました。夏のインターハイは、残念ながら決勝戦で浜西に敗れたものの、秋の国体は新任赴任されました永田峰雄先生のご指導のもと優勝。念願の全校大会（岡山国体）に行くことができました。

2017 年（平成 29 年）第 27 回

静商同窓会 関東支部 総会・懇親会

今年の当番幹事

S39 年卒

S49 年卒

S59 年卒

郷土の名産品

根ワサビ
わさび漬け
安倍川餅
黒やっこ
川根茶

懇親会の出し物

蕎麦うち実演
(即売会)
ジャンケン大会
応援団パフォーマンス

7月16日 日

受付時間 11:00
総 会 12:00
懇 親 会 13:00



トキメク心を
いつまでも
大切にしたい
若さを持って
はばたけ

出席人数確定のため

完全事前振込制！

会 費

女性 8,000 円 (年会費 2,000 円 + 懇親会費 6,000 円)
男性 10,000 円 (年会費 2,000 円 + 懇親会費 8,000 円)
なお、卒業 4 年目までは無料

出欠連絡 は 同封の **ハガキ** で 6/30 (金)
までに (必着) お送りください。

会費納入方法

同封の**払込取扱票**または**口座振替**(手数料無料)にて、必ず**事前**に振込みください。
当日突然の出席は座席・料理提供の関係から受付できませんのでご了承ください。

残念ながら欠席の方も、年会費 2,000 円を同様に振り込みください。

より多くの方の**出席と会費および寄付金**納入のご協力をお願いいたします。



- 都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅下車 A9 出口から徒歩 1 分
- 東京メトロ東西線「竹橋」駅下車
3a 出口から徒歩 5 分
- JR 中央線／総武線「御茶ノ水」駅下車
御茶ノ水橋口から徒歩 15 分

静商同窓会関東支部役員名簿(敬称略)

平成29年5月27日現在

役職名	卒 年	氏 名	住所略	役職名	卒 年	氏 名	住所略
顧問	昭和30年	海野 昭	板橋区	幹事	昭和34年	鈴木 啓嗣	横浜市泉区
	昭和32年	宗野 治義	港区		昭和35年	中川 明巳	練馬区
支部長	昭和38年	吉澤 英夫	大田区		昭和36年	前山 忠弘	さいたま市緑区
副支部長	昭和40年	原 初典	町田市			平井 幸雄	八王子市
	昭和43年	岡本 朗子	船橋市		昭和37年	西島 一二三	藤沢市
幹事長	昭和45年	大石 倫義	横浜市戸塚区			増田 数茂	横須賀市
副幹事長	昭和48年	渡部 広志	佐倉市		昭和38年	梶山 恭一	西東京市
会計	昭和40年	浅井 弘三	杉並区			後藤 忠昭	浦安市
会計監査	昭和38年	鈴木 一晴	中野区		昭和39年	青柳 秀雄	海老名市
	昭和42年	高山 康明	三郷市			川崎 衛	府中市
常任幹事	昭和31年	長谷川 勉	船橋市		昭和40年	須川 福男	鎌倉市
	昭和35年	秋山 卓男	柏市			神山 孝	さいたま市緑区
	昭和38年	杉本 博行	足立区			田邊 勉	横浜市青葉区
	昭和40年	中畑 稔	千葉市若葉区		昭和41年	福島 正吾	茅ヶ崎市
	昭和41年	小林 吉照	横浜市港南区		昭和42年	吉野 秀男	川崎市麻生区
		松本 豊	我孫子市			高塚 年明	藤枝市
		矢込 俊吾	大綱白里市			山口 ひろみ	さいたま市中央区
	昭和42年	小林 幸義	松戸市		昭和43年	瀧浪 利信	川崎市麻生区
	昭和43年	林 和義	東久留米市		昭和44年	長山 静枝	柏市
	昭和44年	的野 典子	船橋市			木村 雅美	横浜市金沢区
	昭和45年	安藤 俊	春日部市		昭和46年	岡島 治樹	横浜市戸塚区
		山梨 隆史	横浜市都筑区			大野 康彦	江東区
	昭和48年	青木 洋一	品川区		昭和48年	青島 正一	印西市
		相川 雅美	横浜市戸塚区			富井 商之	川崎市麻生区
		齋藤 まり子	江戸川区		昭和49年	内田 晃	さいたま市
		岩城 一恵	世田谷区			根岸 巖	さいたま市
	昭和49年	高山 房之	市川市		昭和50年	杉本 幸雄	練馬区
	平成6年	若尾 剛志	練馬区		昭和51年	井上 真理子	川崎市麻生区
幹事	昭和24年	森下 壹雄	柏市			中平 整子	中野区
		内藤 義人	鎌ヶ谷市			萩原 克則	入間市
	昭和26年	天野 寛	国分寺市		昭和52年	本間 邦子	千葉市美浜区
	昭和27年	望月 健三郎	南足柄市		昭和54年	矢部 正志	川口市
	昭和28年	上山 富義	藤沢市		昭和56年	高柳 佐和美	国分寺市
		知光 敬矩	府中市		昭和57年	石井 徹	横浜市保土ヶ谷区
	昭和29年	山田 雅子	宇都宮市		昭和58年	田中 彰二	横浜市神奈川区
		川村 通裕	横浜市青葉区			川田 彰子	大田区
	昭和30年	古井 陸志	立川市		昭和60年	高田 寿之	大田区
		大森 泰次	越谷市		平成6年	浦田 輝	台東区
	昭和32年	松井 邦浩	鴻巣市		平成12年	村松 太一	野田市
		織部 忠義	藤沢市		平成16年	李 慎	港区
	昭和33年	曾我 和善	杉並区				
	昭和34年	小長井 武夫	渋谷区				

(注)個人情報保護の為に住所・電話番号を非表示としました。

平成 28 年度決算 会計報告及び会計監査報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日まで)

1.一般会計

区分	項 目	金 額
収入の部	前 期 繰 越 金	455,550
	本 年 度 収 入	総会会費等収入 1,401,048
		年会費 618,000
		寄付金 374,000
		本部助成金 200,000
		広告収入 100,000
		預金利息 3,143
	小 計	2,696,191
	合 計	3,151,741
支出の部	本 年 度 支 出	総会費用 1,623,498
		会報発行費 386,334
		専門部会活動費 195,000
		同期会補助金 31,000
		会議費 240,762
		運営諸経費 206,682
		寄付金 47,834
	小 計	2,731,110
	支 部 基 金 組 入	0
	次 期 繰 越 金	420,631
	合 計	3,151,741

2.支部基金会計

	項 目	金 額
支部基金	前年度末残高	4,400,000
	本年組入額	0
	本年度末残高	4,400,000

3.財産目録

項 目		金 額
三井住友銀行	支部基金	4,400,000
		312,374
ゆうちょ銀行	次期繰越金	71,562
手元現金		36,695
合 計		4,820,631

上記の通り、報告します。

平成 29 年 4 月 12 日

静商同窓会関東支部 会計 浅井 弘三 印

平成 28 年度会計監査報告

監査の結果、上記の報告に相違なく、適正であることを認めます。

平成 29 年 4 月 12 日

静商同窓会関東支部 会計監査 鈴木 一晴 印
会計監査 高山 康明 印

会費・寄付等納入者御芳名

(敬称略:順不同、単位千円)

会員の皆様の暖かいご支援ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。平成29年3月までに納入頂いた方々のご芳名を下記のとおりご報告申し上げます。
作成に当たっては、誤字、記載漏れのないよう注意しておりますが、万一手入ミスが有りました場合は深くお詫び申し上げます。

(注)氏名の右 * 印は平成28年度の総会出席者を示します。

昭和22年	岩崎 卓己	2	昭和34年	田村 富男	2 *	昭和38年	八木 勝司	2 *	昭和42年	橋本 孝一	5
昭和24年	深尾 孝	2 *		常盤 秀樹	4 *		亀山 邦彦	2 *	昭和43年	岩下 喜美枝	2 *
	山本 昭吾	2 *		小長井 武夫	2 *		山本 文雄	12 *		長橋 修	4 *
	森下 壹雄	5		戸井 政広	2 *		五十嵐 昭夫	2		瀧浪 利信	5 *
	増田 和也	2		安池 和高	2 *		栗山 富美子	2		小林 幸二	4 *
	内藤 義人	2		秋山 敏夫	2		佐藤 亘	4		岡本 朗子	2 *
	山本 直樹	2		池田 峯雄	2	昭和39年	有馬 明	2 *		林 和義	7 *
昭和26年	天野 覚	2		大村 隆明	2		河田 正勝	2 *		井上 典子	2 *
	村越 英夫	6		柴原 達夫	5		杉山 俊夫	2 *		佐藤 秀子	2
昭和27年	望月 健三郎	4 *		柴 義弘	2		青柳 秀雄	3 *		原本 妙子	3
	山村 庸太郎	2		杉山 光男	2		清水 豊	2 *		小林 茂	3
	梅田 定男	3		鈴木 啓嗣	2		渡辺 将之	2 *		高田 勝	2
	志田 実	2		高木 美子	2		川崎 衛	3 *		鎌田 和枝	2
	上田 伸子	2		竹内 祥子	2		檜山 勝	2 *	昭和44年	木村 雅美	3 *
	朝比奈 一郎	2		土屋 堅固	2		杉山 賢次	2 *		的野 典子	4 *
	浅井 英一	2		平井 シズヨ	2		足立 久男	2 *		長山 静枝	4 *
昭和28年	鈴木 基之	2		伏見 重夫	2		黒田 忠志	2 *		北川 真	3
昭和29年	宮川 欣也	5 *		水野 恵司	3		曾根田 正美	2		牧野 仁	2
	永井 賢雄	4 *		藪崎 公一	2		山内 功	2	昭和45年	大石 倫義	2 *
	安池 真	4 *		畑 幸男	2		杉山 千之	2		安藤 俊	4 *
	興津 高里	2 *	昭和35年	秋山 卓男	7 *		前田 裕司	2		山梨 隆史	2 *
	阿部 勝子	2 *		坊野 清之	7 *		近藤 正躬	2		松島 英雄	2 *
	鈴木 正子	2 *		市川 幸子	2 *	昭和40年	塩沢 敏雄	2 *		山口 千江	2
	山田 雅子	4 *		鈴木 春恵	4 *		関塚 仍子	7 *		宮原 茂	2
	宮杉 享	2		山田 昌之	2 *		森谷 綾子	2 *		桑名 知子	2
	山岸 光男	2		青木 正和	2 *		浅井 弘三	5 *	昭和46年	大野 康彦	2 *
	上野山 三平	2		中川 明巳	4 *		重坂 宣良	2 *		宮城 守	2 *
	原田 雄吉	2		小澤 廣記	4 *		中畑 稔	2 *		岡島 治樹	2 *
	榊原 貞夫	3		鈴木 祐輔	2		原 初典	12 *		杉山 正明	2 *
	前島 幸有	2		小島 利明	4		石貝 篤	2 *		三石 輝子	2
昭和30年	石貝 晃司	4 *		小林 一男	2		見城 正博	2 *		山本 優	2
	海野 昭	22 *		宗野 賢次	2		庭野 美恵子	2 *	昭和47年	青木 輝美	2
	成岡 武	2 *	昭和36年	池ヶ谷 捷之	4 *		神谷 雅男	2 *		馬淵 興二	2
	古井 陸志	2 *		鷲野 喜八郎	2 *		小早川 宏	2 *		古平 敬子	1
	服部 勤	2 *		前田 雄幸	2 *		須川 福男	4 *	昭和48年	岩城 一恵	4 *
	望月 秀雄	2		平井 幸雄	2 *		益子 久美子	2 *		相川 雅美	4 *
	大森 泰次	2		横島 啓枝	2 *		神山 孝	2 *		富井 商之	4 *
	佐藤 富士夫	5		高木 英雄	2 *		長田 豊	2 *		牛村 優子	4 *
	高木 慶二	2		前山 忠弘	2 *		田邊 勉	2 *		及川 のり子	4 *
	服部 善男	2		大石 康年	2 *		石川 唯夫	2 *		小川 えり子	8 *
	大村 光平	2		小長井 建昭	5 *		八十浜 隆司	5 *		渡部 広志	4 *
	伊藤 広治	2		小林 育代	2		鷲巢 雅彦	2		齋藤 まり子	4 *
昭和31年	長谷川 勉	10 *		田中 貞雄	2		内海 廣二	2		青島 正一	4 *
	勝山 葆	2		土岐 守行	2		糠谷 和則	2		富田 みな子	2 *
	渡辺 忠章	2		藪崎 久仁子	2		鈴木 朱實	2		山中 幸子	2
	勝見 勝江	2		松平 俊男	7		中野 幸子	2		青木 洋一	2
	大石 幸男	2		柳田 享	2		中野 睦夫	2	昭和49年	芳澤 正明	3 *
	木村 明雄	2		杉山 篤	5		市川 優	2		高山 房之	7 *
	大原 章利	2		築地 鋭行	2	昭和41年	福島 正五	2 *		内田 晃	4 *
	紅林 勲	2		石井 清史	2		松本 豊	7 *		大塚 典子	3 *
	笹下 日出男	2		千賀 正彦	3		小林 吉照	7 *		室井 千歳	2 *
	義村 貴一	2		堤 訓子	2		矢込 俊吾	7 *		西野 眞佐子	2 *
昭和32年	松井 邦浩	4 *		渡辺 秀世	2		良知 章男	5 *		佐合 陽子	2
	伊藤 雅章	2 *		鷲坂 勉	2		青島 幸枝	2		醍醐 寧子	5
	宗野 治義	7 *	昭和37年	鈴木 守	4 *		海野 富夫	4		手塚 文子	2
	岩下 寛治	10		西島 一二三	4 *		藤田 久恵	2		渡邊 正光	2
	小枝 文治	5		松田 弘	12 *		坊野 秀美	8	昭和52年	富田 弘行	2
	堤 正義	2		安川 榮子	4 *		坊野 やえ子	2	昭和54年	金原 張尚	2
	和田 武明	2		長谷川 英樹	2 *		松浦 ユリ	2		矢部 正志	2
	植野 大次郎	5		林 喜久次	2 *		境 静子	6	昭和56年	高柳 佐和美	6 *
	織部 忠義	7		寺山 勢津子	2		森 秀男	2		杉山 正乃	2 *
	木佐森 達夫	4		松田 厚子	2		土方 八重子	2		望月 秀訓	2
	松本 一字	7		山梨 理恵子	2		望月 定幸	2	昭和57年	倉澤 幸靖	2
	増田 佳秋	2		中田 有智子	3		福石 守	2	昭和58年	川田 彰子	2 *
	出島 利一	5		青島 幸一	2		長島 弘之	2		松永 由加里	2 *
	藤田 攻三郎	2		増田 数茂	5		秋山 康雄	2	平成6年	若尾 剛志	5
	川村 潤司	2	昭和38年	浅場 利朗	2 *		鈴木 猪久男	2	平成16年	李 慎	2 *
	小柳 晴孝	2		岡村 優	2 *		佐々木 由美江	2			
	田中 俊昭	2		梶山 恭一	7 *		奥村 芳明	5			
昭和33年	曾我 和善	10 *		小泉 慧	12 *		立石 義郎	2			
	鈴木 五郎	2		後藤 忠昭	4 *	昭和42年	小林 幸義	7 *			
	増田 欣也	2		杉本 博行	7 *		山田 鐘作	2 *			
	秋山 賢司	2		鈴木 一晴	12 *		高塚 年明	5 *			
	佐野 勝一	2		西沢 豊次	2 *		高山 康明	2 *			
	高橋 勲	2		花村 磯男	2 *		吉野 秀男	2 *			
	野呂瀬 誠子	2		福嶋 春子	2 *		内藤 泰敏	4 *			
	三浦 斌	2		増田 実	2 *		小澤 真喜子	2			
	上條 佐恵子	2		吉田 茂夫	2 *		北川 陽子	2			
	高橋 甫	2		吉澤 英夫	42 *		小坂橋 米子	2			
	竹内 清	2		高田 洋子	2 *		山口 ひろみ	2			
	柴田 弘	2		互井 まり子	2 *		寺尾 八郎	2			

会費・寄付金合計
310名・992,000円
(会費618・寄付374)

北
街
道
銭
座

■各種宴会・忘新年会・会合 ■法事
■御祝〈宴会場・少人数～100名様〉

◆仕出し料理 ◆各種弁当 ◆オードブル
★各種催し会場からご家庭まで、ご指定の場所へお届けします。



魚政

池田政人・薫 池田陸子※

※ご予算に応じて各種調整承ります。お気軽にご相談ください!

(お問い合わせ、お申込みは) ☎ **0120-45-5938**

TEL (054) **245-5938**
FAX

静岡市葵区銭座町93-1 北街道沿い 駐車場完備

※吉澤英夫(S38年卒)の美姉(陸子)の店です。

LOCO-MOTION

Box Lunch's Kitchen

仕出し弁当・ロケ弁・ケータリングロコモーション

★カレーの通販は、ホームページより
お買い求めください。
★日本テレビ ダウンタウンDX
楽屋弁当ランキング9位
★お弁当・ケータリング・配達
スタッフ募集

杉山義己 S54年卒
杉山正乃(旧姓竹下) S56年卒

Tel : 03-5799-4813

東京都世田谷区桜 3-2-10-102

http://loco-kitchen.com

サービス付き高齢者向け住宅

トレモンテ明日館

お問い合わせは…… **株式会社ミヤマコミュニティトレモンテ明日館**

宇都宮市石井町2972 TEL **028-678-9337**

Http://tremonte.net E-mail otoiawase@toremonte.net

相談役 **山田 雅子** (S29年卒 旧姓中條)



株式会社 **鈴木塗装工務店**

http://www.suzukitosou.com

取締役会長 **鈴木 守** (S37年卒)

てんぷら 天富

あつあつの
てんぷら
新鮮な刺身料理

品川区大崎3-5-2 JR大崎駅
エステージ大崎107 西口徒歩3分
電話 **03-3779-3895**

土曜・日曜・祭日定休

営業時間 ランチ 11:30~13:30

夕食 17:00~22:00

河田 正勝 (S39年卒)

税理士法人 A T T

東京都中央区日本橋1丁目7番4号
第一正明ビル

TEL **03-3278-8381**

FAX **03-3278-8629**

代表社員 税理士 **高山 房之** (S49年卒)

詩吟を始めませんか! 初心者熱烈歓迎!!



東京・千葉・埼玉・神奈川に19教室あります。
漢詩・俳句・新体詩を楽器伴奏で吟じています。

公益社団法人 日本吟道学院 公認 桜吟会
連絡先: 須川 福男 (S40年卒・鎌倉教室)
TEL&FAX 0467-23-2913
kamakurasgw@yahoo.co.jp

有限会社 印刷工房

〒234-0054 横浜市長南区港南台1-16-5-101

TEL&FAX **045-835-0421**

eメール **insatukobo@nifty.com**

小林吉照 (昭和41年卒業)

静岡同窓会関東支部の最新情報をお届けします

パソコンから

静岡同窓会関東支部

検索

facebook **ビバ静岡!**

ブログ版 **ビバ静岡!**

スマホ・携帯から

http://www1.cts.ne.jp/~seisho/



ブログ版 **ビバ静岡!**



会報1号~25号まで、国会図書館でも閲覧できます。 閲覧IDコード **89238**